

「土木広報大賞 2019」応募用紙

団体名：日本ダムアワード選考委員会			
代表者氏名：		所在地：	
担当者情報	氏名：	所属部署：	
	電話：	E-mail：	
応募部門 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> イベント部門	<input type="checkbox"/> 映像・Web メディア部門	<input type="checkbox"/> アイテム部門
	<input type="checkbox"/> 教育・教材部門	<input type="checkbox"/> 商業広告部門	<input type="checkbox"/> 企画部門
土木広報活動または作品名：日本ダムアワード 2018			前回の応募： <input type="checkbox"/> 有
<p>広報活動または作品の概要</p> <p>日本ダムアワードは、一般のマスコミなどで取り上げられることの少ないダムの活躍を表に出し讃えたい、という目的で行われているイベントで、2013年から毎年年末に開催されています。</p> <p>イベントの内容は、一年間のダムの活躍を振り返り、ダムファン有志による選考委員が様々な角度から活躍したダムをノミネート。選考委員によるプレゼンテーションを行ったのち、観客および選考委員も参加して投票を行い、各部門で今年もっとも印象に残ったダムを選出しています。</p> <p>イベントとして6回目を迎えた日本ダムアワード 2018 は、2018年12月22日(土)に東京・渋谷のイベントホール「東京カルチャーカルチャー」にて約150名(満席)の観客のもと開催され、付属資料記載の5部門および当年を代表する「もっとも印象に残ったダム」としてダム大賞1つ、計6つのダムを決定しました。</p>			
<p>広報活動または作品の効果</p> <p>ダムアワードの開催告知および選考結果は公式ホームページ  <a href="http://japandamaward.org/">http://japandamaward.org/</a>          および各選考委員の個人SNS等で広く情報拡散しています。</p> <p>また、記念トロフィー、盾を作製し、各受賞ダムへ選考委員がお届けに伺っており、その際「授与式」を開催していただいているダムもあり、その模様が地元の新聞、テレビ等で取材されダムの活躍や役割を一般に広める役目を果たしていると考えています。</p> <p>また「放流賞」「イベント賞」「ライトアップ賞」は各ダムの取り組みを紹介するだけでなく、点検放流やイベント、ライトアップなどの全国的な活性化を促し、結果的に水源地域の活性化に寄与していると考えています。</p>			
付属資料の提出	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無 (どちらかに印(✓)を付けてください。)		